

各基準での
優れた点・改善を要する点

(平成27年度実施分)

※ 本資料は、平成 27 年度高等専門学校機関別認証評価及び選択的評価事項に係る評価における各対象校の評価結果にて掲げた「優れた点」及び「改善を要する点」を抽出し、観点ごとに分類整理したものです。

※ 主な優れた点及び改善を要する点は、網掛けになっております。

基準 1

1－2－①：周知

改善を要する点

- 学校の教育目的、各課程の教育目標及び各学科の学習・教育目標に対する学生の周知度は低い状況にある。また、非常勤講師を含む教職員の周知状況が把握されていない。【サレジオ】

基準 2

2-1-①：学科の構成

優れた点

- 準学士課程 1・2 年次の混成クラス編成とともにブレテックという教育組織を設置しており、学科の枠を越えた幅広い人間性の涵養を目指している点は、特色ある取組である。【サレジオ】

2-1-③：全学的なセンター

優れた点

- 教育活動を支援する組織として、事務部門のほかに 6 つのセンターを設置し、事務部と教員が一体となった教育実施体制を整備し教育活動に当たっている。【サレジオ】

2-2-②：教員間連携

改善を要する点

- 相互に関連のある数学・物理系科目と専門科目の科目間連携表を教務委員が中心となって作成し、各教員がシラバス作成時に活用しているものの、その活用状況について学校による組織としての確認が十分ではない。【神戸市立】
- 相互に関連を持つ一般科目及び専門科目の担当教員間の連携活動は個別になされているものの、学校としての組織的な取組が十分に実施されていない。【サレジオ】

基準3

3-1-④：教員組織の活動をより活発化するための適切な措置

優れた点

- 教員組織の活動を活性化するために、業務負担の重さに応じて担当授業時間を減らす制度や「裁量日」の導入、公募による学校内研究費の傾斜配分、学位取得に対するサポート等を実施していることは、特色ある取組である。【サレジオ】

3-2-①：学校としての全教員の教育活動の評価

優れた点

- 個々の教員について、毎年度、「業績一覧表」「人物評価一覧表（行動考課表）」及び「個人活動計画報告」の3つについて数値化し、教育活動の評価を厳密に行っていることは、特色ある取組である。【サレジオ】

基準 4

4—1—①：入学者受入方針

改善を要する点

- 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を構成する求める学生像は明文化されているものの、もう一つの構成要素である入学者選抜の基本方針が明文化されていない。【神戸市立】

4—2—②：入学者受入方針の検証

改善を要する点

- 入試の選抜方法の検証やその結果を選抜方法の改善に結び付ける取組は入試広報室において行われているものの、規定やマニュアルによる制度化がなされておらず、検討内容が不明瞭である。【サレジオ】

4—3—①：入学者数

改善を要する点

- 実入学者数の改善に資する取組が行われ、成果が表れつつあるものの、5年間の平均をみると一部の学科・専攻において、実入学者数が定員を下回る状況となっている。【サレジオ】

基準5

5-1-①、5-5-②：教育課程の体系的編成、授業内容

改善を要する点

- 準学士課程の教育目標に沿って編成された教育課程の流れが、例えば科目系統図等によって明示されておらず、教育課程の体系性が学生にとって分かりやすいものとなっていない。【サレジオ】

5-1-②、5-5-③：学生の多様なニーズ、学術の発展動向、社会からの要請等への配慮

優れた点

- 「高専生のための防災・減災入門」を導入し、学生全員が履修すべき科目と位置付け、全学科共通の特別活動としていることは特色ある取組である。【神戸市立】
- 当校の専任教員は全員、日本工学教育協会の個人会員となり、そこでの活動を学校として経済的に支援するとともに、最新の学術・教育動向を取り入れ、授業や実験実習の改善につなげている。【サレジオ】

5-2-①：授業形態のバランス、適切な学習指導方法の工夫

優れた点

- 準学士課程1・2年次の「英語」において、日本人教員と外国人教員によるチームティーチングを導入し、外国人との交流の機会を想定した授業を構成し、英語に対する学生の苦手意識の解消等、成果を上げている。【サレジオ】

5-2-③、5-6-③：創造性を育む教育方法の工夫、インターンシップ

優れた点

- 専攻科課程2年次の「エンジニアリングデザイン演習」では、それまでの学習により総合的な知識を身に付けた複数の専攻の学生らが混合でグループを組織して、与えられた目標（テーマ）に対して自ら取組方法を考案しながら問題解決を図る中で創造性を育む工夫を行っている。【神戸市立】
- 準学士課程の各学科で実施している実習・実験系科目において、解が一つではない課題を課し、学生が創意工夫を行うよう仕向けることによって創造力を高めるよう図っている。例えば、デザイン学科4・5年次の「応用デザイン実習Ⅰ・Ⅱ」では、コンセプト立案から最終プレゼンテーションまでを行うことで、デザインプロセスを実践的に身に付けながら創造性を育むことを図っている。【サレジオ】
- 専攻科課程1年次の「専攻演習Ⅰ・Ⅱ」において問題抽出の方法や問題解決の手法を教授しており、特に問題解決手法においては、VE（Value Engineering）の手法を教授し、その手法に基づいた活動を行うことで、学生が持っている創造力を発揮させるだけでなく、学生の創造性を高め、予想していなかった革新的な解を無理なく創出できるように工夫している。【サレジオ】

5－3－①：一般教育の充実、特別活動の実施、課題活動等における豊かな人間性の涵養

優れた点

- 毎週火曜日と金曜日の朝のホームルーム時を利用し、放送設備を使って、教職員が交代で全学生への小講話を行い、豊かな人間性を涵養する機会を提供していることは、特色ある取組である。【サレジオ】

5－4－①、5－8－①：成績評価・単位認定、進級卒業（修了）認定

優れた点

- シラバスの記載どおりに授業担当者が成績評価を実施しているかについて、教員相互でシラバス評価内訳表を用いて点検している。【神戸市立】

改善を要する点

- 準学士課程の一部科目において、複数年度にわたり、同一の試験問題が出題されている。【サレジオ】

基準6

6-1-②：学生が身に付ける学力や資質・能力について、学校としてその達成状況を評価した結果

優れた点

- 学生の資質向上のために、学会発表等に対する補助金制度（課題研究予備費）を設けており、学生の研究発表の増加につながっている。【サレジオ】

6-1-③：就職率、進学率

優れた点

- 就職について、準学士課程、専攻科課程ともに就職率（就職者数／就職希望者数）は極めて高く、就職先も製造業や情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業、運輸業、郵便業関連などの当校が育成する技術者像にふさわしいものとなっている。進学についても、準学士課程、専攻科課程ともに進学率（進学者数／進学希望者数）は極めて高く、進学先も学科・専攻の分野に関連した高等専門学校の専攻科や大学の工学系の学部や研究科となっている。【神戸市立】
- 就職について、準学士課程、専攻科課程ともに就職率（就職者数／就職希望者数）は極めて高く、就職先も製造業や情報通信業、サービス業等の当校が育成する技術者像にふさわしいものとなっている。進学についても、準学士課程、専攻科課程ともに進学率（進学者数／進学希望者数）は極めて高く、進学先も学科・専攻の分野に関連した高等専門学校の専攻科や大学の工学系の学部や研究科となっている。【サレジオ】

6-1-④：学生からの意見聴取の結果

優れた点

- 学生に、学習支援データベースで学期末に各授業科目の到達目標の達成度を5段階で自己評価させ、その結果をもとに各時点における学習・教育目標ごとの達成度を算出するシステムを定着させ、各学生が学習・教育目標の達成状況を確認できるようにしているとともに、その出力結果を学校としての達成状況の把握・評価に活用している。【神戸市立】

6-1-⑤：卒業（修了）生等からの意見聴取の結果

改善を要する点

- 在校生や卒業（修了）生に対する学習達成度に関する意見聴取が不十分であり、学生の意見聴取結果に基づく教育の成果や効果の確認が十分になされていない。【サレジオ】
- 卒業（修了）生の就職先企業へのアンケートにおいて、卒業（修了）生の国際性やコミュニケーション能力、実践力に対して不十分と回答する企業が多い状況にある。【サレジオ】

基準 7

7-1-③：学習支援に関するニーズの把握や、資格試験等の受講及び外国留学のための支援体制

優れた点

- 資格試験・検定試験受験のためのサマースクーリングとして学生のニーズを捉えながら多数の講座をキャリアセンターが開講していることは、特色ある取組である。【サレジオ】

7-1-④：特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制

優れた点

- 発達障害の学生に対して、高等専門学校の持つ5年一貫での少人数教育等の教育環境の優位性を意識した特別な取組を組織的に行うなど、障害のある学生に対して、障がい学生支援委員会が学生相談室と連携して対応を協議し、授業担当者や担任が当該学生の支援を行っている。【神戸市立】

7-2-④：進路指導体制

優れた点

- 4年次生進路ガイダンス等の通常の進路指導に加え、低学年からキャリアプランに関するテキストを用いた学習、現場視察による学習、卒業生等による経験談の聴講等、キャリア教育を体系的に実施している。【神戸市立】
- キャリアセンターが中心となり、全学年を対象としたサマースクーリングや各種ガイダンス、キャリア面談等のキャリア支援プログラムを充実させている。【サレジオ】

基準 8

8-1-①：施設・整備

優れた点

- 各学科で独自の安全マニュアルを作成しており、今後はこれらを集約・充実させ、全校共通の安全マニュアルとして全学生への配布を計画するなど、安全教育に配慮した取組を行っている。【神戸市立】

8-1-②：ICT環境

優れた点

- 総合情報センターを中心に、有志の専門教員チームを組織して、情報セキュリティを含む各種特色あるデータベースの運用を行い、ICT利用の実を挙げている。【神戸市立】

基準 9

9-1-②：教育状況に関する自己点検・評価

改善を要する点

- 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果をもとに教育の状況に関する自己点検・評価が行われているものの、自己点検・評価の結果を教育の質の改善に結び付けるような組織としてのシステムを整備する上で重要な要素となる、教育の状況に関する自己点検・評価における評価項目・評価基準の設定が不明瞭である。【サレジオ】

9-1-③：教育の質の向上、改善のためのシステム整備、方策

優れた点

- 神戸高専PDCAサイクルに従って教育活動に関する各種の評価結果を教育の改善に結び付けるシステムが整備されており、全学的エンジニアリングデザイン教育の実施、海外インターンシップの実施、女性教員の積極的採用などの方策が講じられている。【神戸市立】

改善を要する点

- 卒業生アンケートにおいて英語によるコミュニケーション能力が低いという結果が得られたことに対して、有効な改善策が講じられていない。【神戸市立】

9-1-④：授業内容、教材、教授技術等の継続的改善、教員の改善活動状況の把握

優れた点

- 学生による授業アンケート結果に対して、担当教員が分析と改善対策を授業アンケートシートにまとめ、校内ウェブサイトで公表することにより、授業アンケート結果及びそれに対する教員のコメント等を学生にもフィードバックする仕組みを構築している。【神戸市立】
- 学生による授業評価アンケートの結果をもとに、サレジオ・マネジメント・システムを活用し、個々の教員レベルで継続的な授業改善の取組を実施するとともに、各学科でも独自に継続的改善を行い、成果を上げている。【サレジオ】

基準 11

11-1-②：危機管理

改善を要する点

- 管理運営において、諸規程が整備され、各委員会が役割分担し、活動しているものの、教育目的に対する学校関係者の周知状況やシラバスの活用状況の把握等、多くの観点の分析・評価において必要となるアンケート等の意見聴取が不十分である。【サレジオ】

11-2-①：自己点検・評価の実施・公表

改善を要する点

- 自己点検・評価を行い、その結果を当校のウェブサイトで公表しているものの、学校の活動の総合的な状況に対する自己点検・評価における評価項目・評価基準の設定が不明瞭である。【サレジオ】

11-3-②：外部の教育資源の活用

優れた点

- サレジオ高等教育機関連合（IU）の活用等により、フィリピンのドンボスコ・マンダレイヨニ工科大学と教育・学術交流に関する協定を締結し、学生交流を行い、当校の教育目的である「国際性」を養成しようとしていることは、特色ある取組である。【サレジオ】

選択的評価事項A

A－１－①：研究体制、支援体制

優れた点

- 教職員データベースを構築し、教員個人の研究成果をデータベース化することで教員の業績管理を支援している。【神戸市立】
- 競争的外部資金獲得件数の向上のために、校内予算から支給される研究費（課題研究費）を科学研究費補助金と同様の方法で審査し交付しており、また、学生研究によって学生の資質の向上を図るために、学会発表等に対する補助金制度（課題研究費予備費）を実施している。【サレジオ】

選択的評価事項B

B－１－②：活動の成果、改善のためのシステム

優れた点

- 出前授業の改革策の一つとして移動実験車「神戸高专モバイルラボ（おきしお号）」を導入し、遠方にも治水模型や出前授業用の実験装置を運搬することを可能にするなど機動力を向上させ、地域貢献活動の範囲の拡大を図っている。【神戸市立】